

石西礁湖自然再生協議会 全体構想作成作業グループ（第 4 回） 議事概要

日 時：平成 18 年 9 月 19 日（火）
10：00～15：30

場 所：国際サンゴ礁研究・
モニタリングセンター

第 1 章について

- ・ 観光入域者数以外に、平成 25 年度予測などのデータ等も記載する。
- ・ 漁業については、漁種別の漁獲量についても記載する。
- ・ 石垣市で行った、平成 13 年の環境に関する意識調査のアンケートについても記載する。
- ・ (4)「石西礁湖における自然再生の始まり」の“関連する団体”については思案中。
- ・ (1)「石西礁湖サンゴ礁生態系の特徴・重要性・役割」について、藻場や干潟のデータは多少あるが、マングローブや海岸林、砂浜などのデータが不足しているので、潮間帯については西平先生より、マングローブについては馬場先生よりデータを提供願う。

第 2 章について

- ・ 長・短期目標については、インパクトフロー図を作成するなど、対象への影響をわかりやすくする必要がある。
- ・ 1 章部分を作成して現状を把握した後、再度議論する。

第 3 章について(対象区域をどの範囲にするか)

自然再生対象区域（自然を再生する範囲） 明確な線引をせず、概ねの範囲とする。

重要な区域：＜石西礁湖＞

- ・ 既存の国立公園区域を参考に、東西約 30km、約南北 20km で囲まれる範囲の海域（加屋真島、新城島、西表島東岸及び石垣島南東のサクラグチを含める）とする。

関連する区域：＜石垣島・西表島周辺海域＞

- ・ 概ね 50m の等深線に囲まれる範囲とするが、網取湾など水深 50m では含まれないエリアが生じるため、西表島や石垣島の周辺に発達した湾や裾礁などを含むよう設定する。

自然再生に関連する活動を行う区域：＜自然再生対象区域及びその周辺区域＞

- ・ 上記 に囲まれる範囲の陸域とする。

第4章について

(1) 展開すべき取り組みの整理の仕方について

- ・ テーマ自体は5つのままとする。ただし、記述に当たっては、冒頭に、展開すべき取り組みの構造(=必ずしも並列の関係にはなく、各取り組みは連携して行うべきものであること)を記述する。

(2) 各テーマの細分化の必要性

<1. 保全管理の強化>

- ・ 「保全管理の強化」の中には、「良好な状態を維持していくための取り組み」と「良好な状態を取り戻し、自然の回復力を高めるための取り組み」が含まれているが、記述に当たっては、それぞれを分けて整理していく。

<3. サンゴ群集の修復とサンゴ礁域の生態系再生>

- ・ テーマ・・・「3. サンゴ礁生態系の再生」
- ・ サブテーマ・・・「(1) サンゴ礁群集の修復」、「(2) サンゴ礁域の生態系再生」
- ・ サンゴ礁生態系といった場合、海岸林なども含むことを、図も用いながら説明する。
- ・ 「再生」と「修復」という言葉については、第4章(1)「石西礁湖における「自然再生」とは」において定義を記述する。なお、「再生」には、保全と修復の両方の意味が込められているものとする。

第5章について

- ・ アクションをこちらから提案するのではなく、当事者意識を持っていただけるような工夫が必要。
- ・ 意見照会の際、各委員に、特に書いてほしいテーマ(協議会で担当したテーマ)を依頼するようにすれば、なお良い。

講演会・現場視察について

- ・ 井田先生(元北里大学水産学部教授、石西礁湖の国立公園指定調査に参加)、漁業関係者(池田氏:石垣市在住)等に講演を依頼する。
- ・ 次の協議会は年内11月を目処に調整し、遠方から来る協議会委員の都合や講演会の演者に協議会を見ていただくという意義から、協議会と講演会を一緒に開催する。
- ・ 今後、他の協議会との交流も企画していく。